

逸脱車両に危険を知らせる  
振動機能の付いた側溝

# あんしんバリアー工法 NETIS HR-110017-A



凹形状

**全国で6万m以上の施工実績！**

●●● ●●● ●●● ●●●

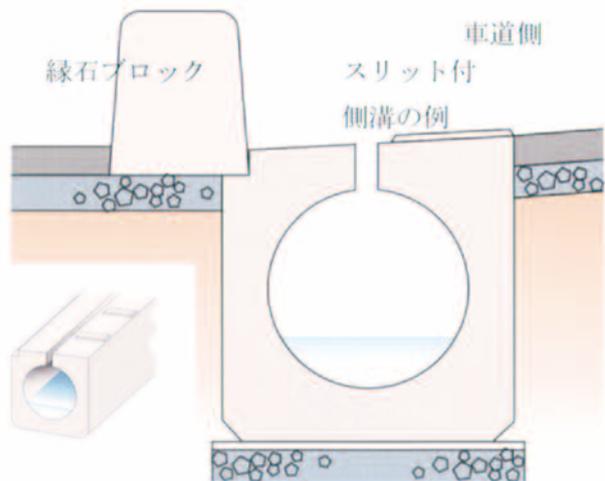
「あんしんバリアー工法」とは、走行車線から逸脱したドライバーに危険を知らせる、「振動（バイブレーション）機能付の側溝」を用いた「交通事故防止技術」です。

居眠り運転やわき見運転で車道を逸脱した車両が歩道に近づいた時、「運転者に微振動で注意を促す」と同時に歩行者にも素早く危険を知らせ、双方に高い安全性を提供する優れた工法です。しかもこの機能付加に要する工事費は全く発生しない画期的な「コスト削減工法」です。

● 暗渠型側溝の施工例 (福岡県)



● 円形型スリット付側溝の施工断面例





広島県 (勾配可変側溝)



沖縄県 (勾配可変側溝)



福岡県 (暗渠型側溝)



福岡県



宮崎県 (暗渠型側溝)



山形県 (鉄筋 L 形 : 2m)